

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	DOWAパワーデバイス株式会社					
代表者名	氏名	島田 益	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県塩尻市大字片丘9637-3					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	セラミックス絶縁基板の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	1,508	1,900			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,142	4,000			
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0				
自動車の台数	台	2				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成	29	年度	計画期間	平成	30	年度～	平成	31	年度
------	----	----	----	------	----	----	-----	----	----	----

報告対象年度	平成		年度
--------	----	--	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	窓口：DOWAパワーデバイス株式会社 管理部管理課 事務所にて閲覧可。 電話番号 0263-53-0770 営業時間 9:00～17:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

以下の企業理念に則り活動を行う。

(DOWAホールディングス(株)企業理念)

当社は地球を舞台とした事業活動を通じ、豊かな社会の創造と資源循環社会の構築に貢献する。

(DOWAパワーデバイス(株)企業理念)

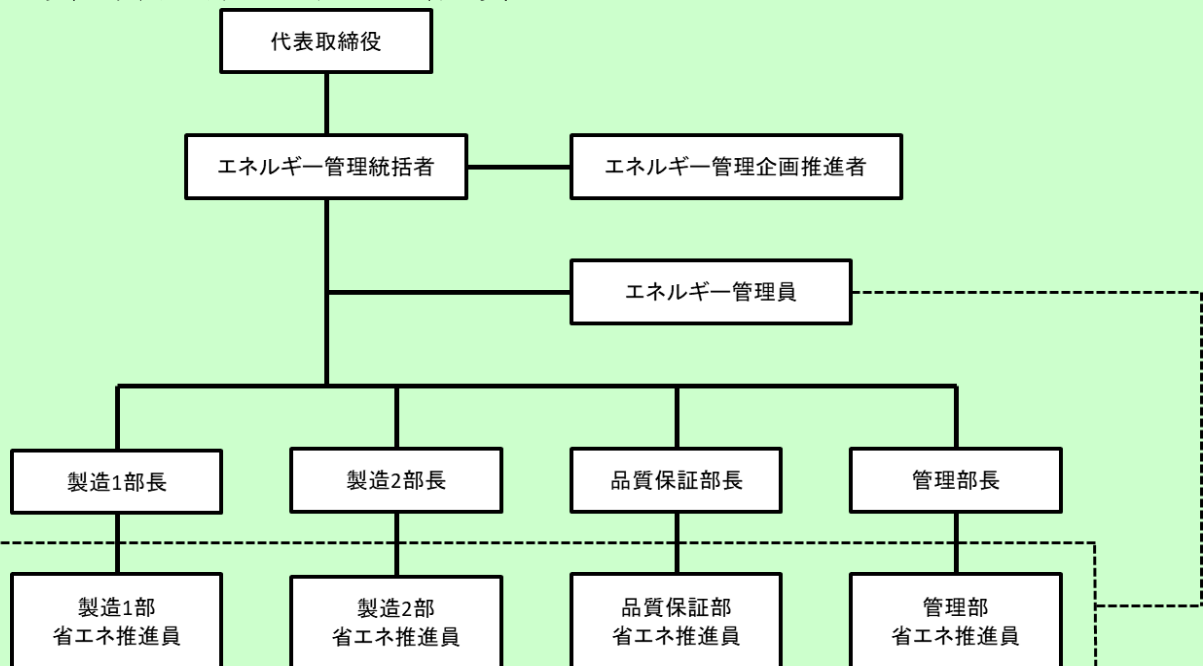
豊かな暮らしの創造と環境社会に貢献していく。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

2020年度発足予定のエネルギー管理体制

以下、兼務とする。

- ・温暖化対策責任者＝エネルギー管理統括者
- ・計画書/報告書提出担当者＝エネルギー管理企画推進者
- ・温暖化対策担当者＝エネルギー管理員



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ推進委員会

開催頻度：1回/四半期以上。

2020年度より開催見込み。

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,142	t-CO ₂	生産数量(面積)	218	単位	千m ²	
29年度	調整後排出量	3,114	t-CO ₂	基準原単位	14.42	t-CO ₂ /	千m ²	
目標年度	目標排出量	4,000	t-CO ₂	目標原単位	14.13	t-CO ₂ /	千m ²	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	(27.31)	%	目標削減率	2.01	%		
目標設定に関する説明	<p>原単位1%/年の削減を目標とする。</p> <p>排出量に関して平成31年度の生産量は平成29年に比べて1.3倍が予定されている。これに対して原単位で2%削減された数値を目標とする。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂	生産数量(面積)		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂	生産数量(面積)		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産数量(面積)		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 C棟照明LED化(めっき室)	H30	10		
2	エネ起	3807502 C棟照明LED化(めっき準備室)	H31	10		
3	エネ起	310300 エネルギー使用量最適化、計測 機器の設置	H30	10		
4	エネ起	310300 エネルギー使用量最適化、計測 機器の設置	H31	10		
5	エネ起	360799 ポンプ・ファンモータの高効率 化、インバータ設置(新規・更新時)	H30	10		
6	エネ起	360799 ポンプ・ファンモータの高効率化、イン バータ設置(新規・更新時)、圧縮エアール改善	H31	14		
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	28				
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,142						
1,500k1未満								
合計	1	3,142						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1			
合計	1	0	0	0
自動車総数	2			
次世代車導入割合	50			

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし。
その他	特になし。

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	海外実習生を除いて、マイカーによる通勤率100%。
公共交通機関の利用促進	立地の問題で公共交通機関を使用しての通勤は不可。
来客者の交通対策	特になし。
物流の合理化	特になし。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・上水(洗浄水)使用量の管理。 ・廃棄物の分別、有価物回収。
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	照明のLED化(工場全体の70%)、ポンプ等の更新時に高効率モータを使用。新規で設置する照明はLEDを使用。	85
その他		